



# 碌山美術館報

第 46 号

令和 8 年 3 月 25 日 発行

編集 発行 (公財) 碌山美術館

〒399-8303 長野県安曇野市  
穂高5095-1

TEL 0263-82-2094

FAX 0263-82-9070

<http://www.rokuzan.jp/>

印刷 信教印刷(株)



笹村草家人《津田非仏居士》1937年、ブロンズ、高さ27cm

## 底光りする世界

モデルの内側に確乎として存在する根源の姿を写しとることを求めた笹村草家人(本名・良紀、一九〇八—一九七五)。それが達成できたのは生涯でわずかに三点のみと考えるほど、その追求に向かう厳しい姿勢は、東京美術学校助教という教育者としても、荻原守衛の顕彰・普及に努める研究者としても、一貫している。それでも碌山美術館創設に建築家として関わった今井兼次は、笹村設計のグズベリーハウスや美術の倉が来館者の心に愉しく親しみあるものを与えているとし、笹村に「きびしさと愛情に満ちた天性の資質」を読み取っている。

その三点のうちの一つが《津田非仏居士》である。モデル・津田寿一は父親の静坐の先輩であり、また父親が歌の添削をした人物。鐘紡を辞め知恩院に隠棲していた津田を訪ねての制作。このときほど苦しい制作はなかった。というのも、制作の疲れのため肋膜炎再発の徴候が現れ、友人たちが相次いで応召していたので、召集がいつ届くかと不安であり、さらに津田を尊敬するあまりなかなか満足はいく制作ができていないという三重苦に苦しんでいた。そんななかモデルが「底光りし」、その根源の姿が見えたという。

学芸員 武井 敏